

# 営業のご報告

HYAKUJUSHI BANK MINI DISCLOSURE 百十四銀行 ミニディスクロージャー誌



114 BANK

## ごあいさつ

平素より百十四銀行をご利用、お引き立てをいただき、まことにありがとうございます。

2024年度は、日本銀行による政策金利の引上げが段階的に行われ、我々地域金融機関を取り巻く環境が大きく好転しました。また、従来より取り組んできたコンサルティング領域の拡充と、ファイナンス領域の高度化が、着実に効果を上げてきたことを受け、中期経営計画の最終年度にめざす経営目標の引上げを公表することができました。

このような中、環境の変化はかつてないほど速く、激しさを増しており、地域の皆さまの成長を「応援」し続けることを使命とする私たち自身が、その時々環境に合わせて躊躇なく変容していくことの必要性を、これまで以上に強く感じております。

中期経営計画「**創ろうイ・イ・ヨ**」の仕上げとなる本年度は、米国の関税政策の見直しによる影響が見通せず経済の不確実性が高まる中、地域やお客さまが抱える様々な課題を解決へと導く「総合コンサルティング・グループ」としての機能を最大限に発揮することで、当行グループが提供する価値の

極大化を図ってまいります。そのために、各施策を一層スピード感を持って進めていくことで、ステークホルダーの皆さまの期待を上回る飛躍的な成長と企業価値の向上、並びに長期ビジョンでめざす、地域の皆さまがウェルビーイングを実感できる社会の実現に向けて、役職員一丸となって取り組んでまいります。

皆さまにおかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

頭取

森 正史



## 経営理念

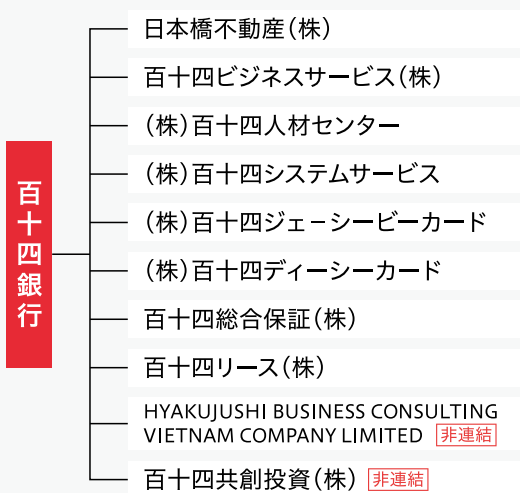
- 1 お客さま・地域社会との共存共栄をめざします。
- 2 活気ある企業風土の醸成をめざします。
- 3 健全性の確保と企業価値の創造をめざします。

### Profile [2025年3月31日現在]

|       |                     |                                                   |          |
|-------|---------------------|---------------------------------------------------|----------|
| 本店所在地 | 香川県高松市亀井町5番地の1      | 発行済株式総数                                           | 28,630千株 |
| 創業    | 1878年11月1日          | 従業員数                                              | 1,940人   |
| 総資産   | 5兆7,129億円           | 店舗数                                               | 133店舗    |
| 総預金   | 4兆7,112億円(譲渡性預金を含む) | 【本支店 100、出張所 22、<br>クイックスクエア 6、<br>コンサルティングプラザ 5】 |          |
| 貸出金   | 3兆5,128億円           |                                                   |          |
| 資本金   | 373億円               |                                                   |          |

※ 本冊子に掲載されている計数は原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。

### 百十四グループ (2025年3月31日現在)



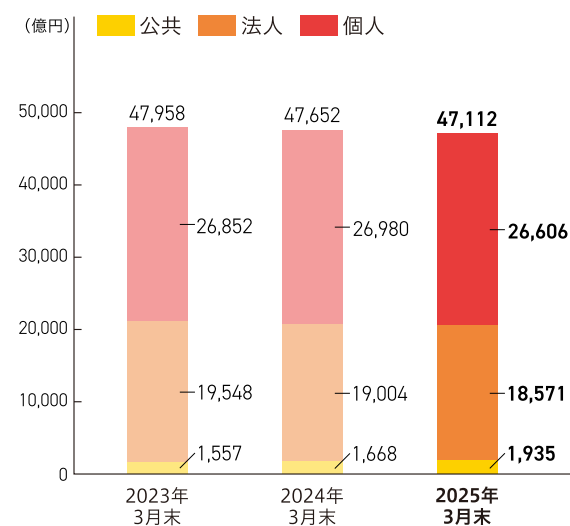
※上記のほか、非連結子会社の114事業承継・成長支援ファンド投資事業有限責任組合があります。  
なお、2025年4月1日付で、114地域みらいデザイン株式会社を新規設立しております。

## 業績ハイライト

### 総預金・貸出金の残高推移

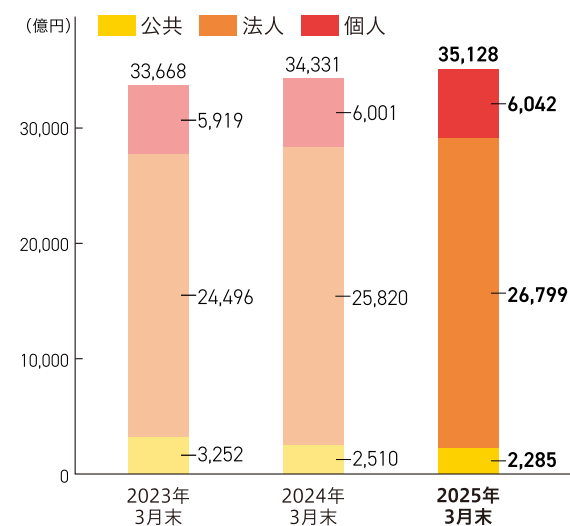
#### 総預金(預金+譲渡性預金)【単体】

当期末の総預金残高は、公共預金が増加しましたが、法人及び個人預金が減少したことにより、前期末比540億円減少して4兆7,112億円となりました。



#### 貸出金【単体】

当期末の貸出金残高は、公共向け貸出金が減少しましたが、法人向け及び個人向け貸出金が増加したことにより、前期末比796億円増加して3兆5,128億円となりました。

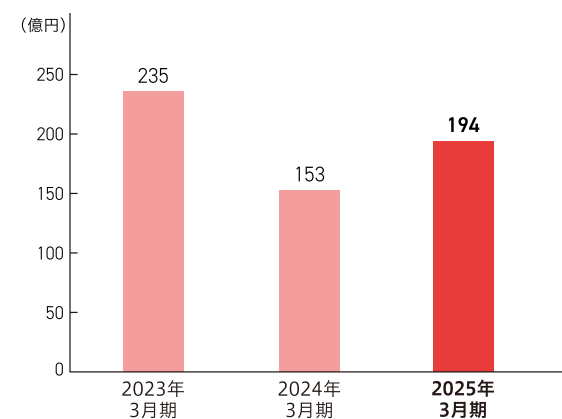


### 業績の推移

#### コア業務純益(除く投資信託解約損益)【単体】

コア業務純益(除く投資信託解約損益)\*は、貸出金利息の増加による資金利益の増加などにより、前期比41億円増加して194億円となりました。

\*コア業務純益(除く投資信託解約損益)とは  
銀行の本来業務からの利益を表す指標

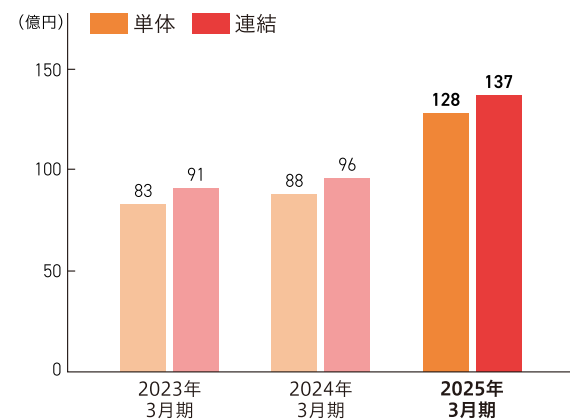


#### 当期純利益【単体・連結】

当期純利益は、コア業務純益(除く投資信託解約損益)の増加及び株式等関係損益の増加などにより、前期比40億円増加して128億円となりました。

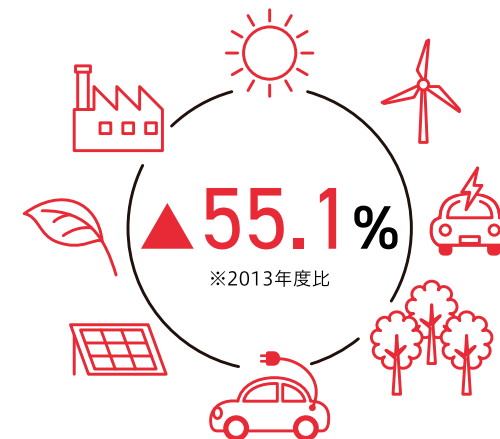
また、連結当期純利益\*は、前期比40億円増加して137億円となりました。

\*連結当期純利益とは  
親会社株主に帰属する当期純利益



## 非財務ハイライト

### CO2排出量削減率



### 女性管理職役席者比率



女性管理職  
**16.6%**  
女性役席者  
**31.3%**

※女性管理職：次長・グループ長以上  
※女性役席者：支店長代理・調査役以上

### サステナブルファイナンス実行額



**2,438億円**  
うち環境系1,020億円

※対象期間：2021年度からの累積額

### 男性の育児休業等取得率



**100%**

### 114マイスター制度 「マイスター」認定者数



※当行独自の認定制度。銀行業務をコンサル、融資管理、ライフプラン、DX業務など8分野に分類し、それぞれ3段階で認定した最上位資格。研修受講や営業実績に加えて、FP1級や中小企業診断士等の難関資格取得を認定条件としています。

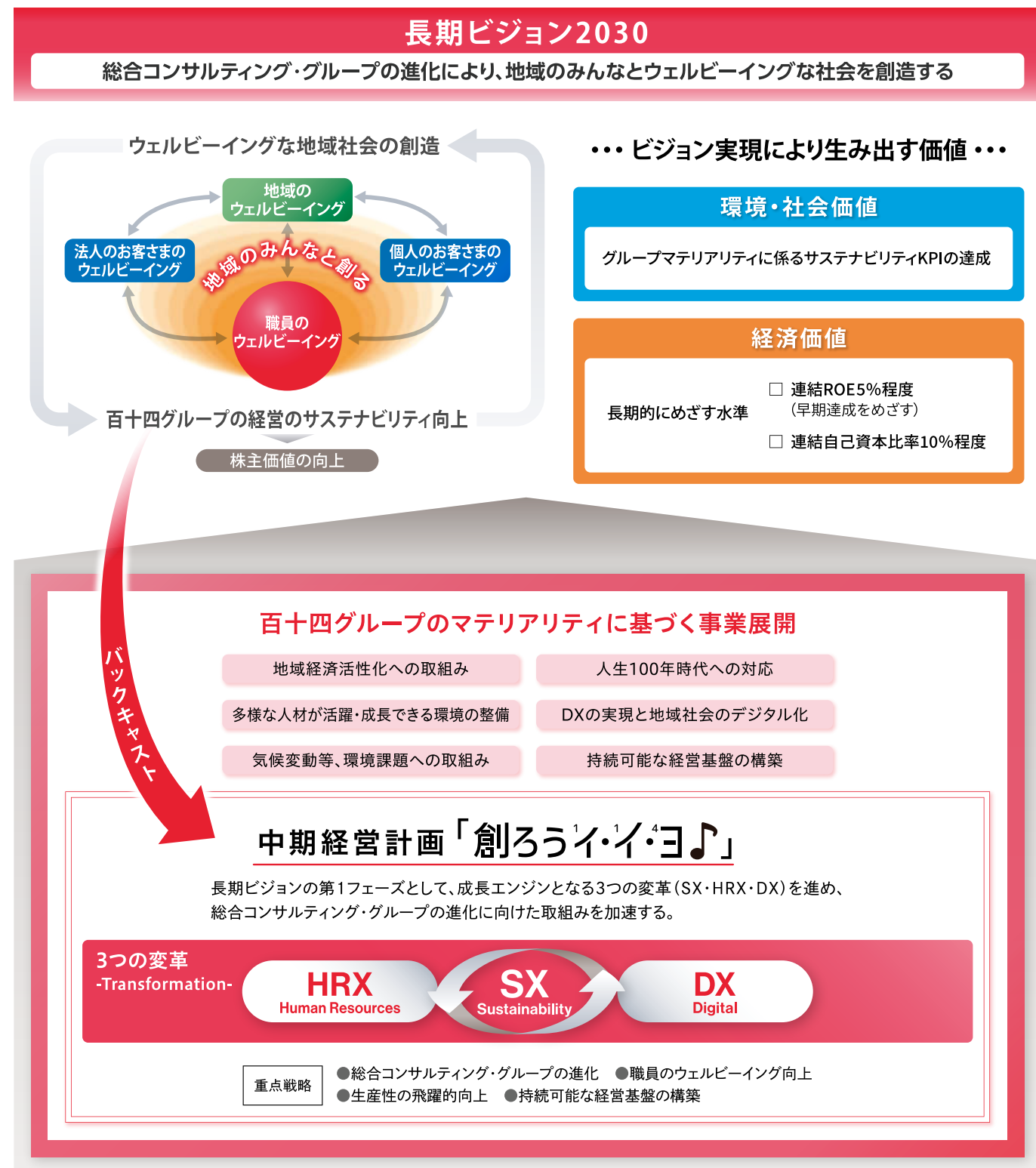
### 取締役中の独立社外取締役



## 百十四グループの長期ビジョンと中期経営計画

多様化・複雑化する環境を踏まえて百十四グループが取り組むべき重要課題を「百十四グループマテリアリティ」として特定し、その解決に向けて長期的にめざす方向性として「長期ビジョン2030」を定めました。

長期ビジョンの実現に向け、その第1フェーズとなる中期経営計画のもと、3つの成長エンジン(SX・HRX・DX)による変革を進め、総合コンサルティング・グループの進化に向けた取組みを通じて、ウェルビーイングな地域社会の実現と百十四グループの経営のサステナビリティ向上をめざしてまいります。



## 重点戦略

### 重点戦略① 総合コンサルティング・グループの進化

当行グループの総力を結集し、地域課題の解決や法人のお客さまへのコンサルティング強化、個人のお客さまにはライフステージに応じたきめ細やかなサポートを通じ、総合コンサルティング・グループの進化を加速させております。

#### 「114地域みらいデザイン株式会社」を設立

2025年4月、既存の銀行の枠にとらわれない事業展開により、多様化・複雑化する地域の課題解決への取組みを一層推し進めることを目的に、地域活性化事業子会社を設立しました。地域の経済活性化と百十四グループの経営のサステナビリティ向上の両立を図ってまいります。



#### 野村證券株式会社との金融商品仲介業務における包括的業務提携に関する基本合意書締結

2025年3月、野村證券株式会社と金融商品仲介業務における包括的業務提携に関し、基本合意書を締結しました。人生100年時代におけるお客さまのフィナンシャルウェルネス実現に貢献するために、2025年度中の最終合意に向けて協議を進めてまいります。



#### ソリューションファイナンス部の新設

多様化するお客さま・地域のニーズや課題に対し、最適な金融サービスをワンストップで提供することを目的として、「ソリューションファイナンス部」を新設しました。

#### 将来世代への金融教育を実施

四国島内の高等学校及び専門学校において、生徒・教職員を対象に金融教育授業を実施しました。「貯蓄」から「投資」への機運が高まる中、金融教育を通じて地域社会の持続的な発展に積極的に取り組んでまいります。

#### 「114脱炭素コンサルティングサービス」の取扱い開始

株式会社ウェストボックス及び株式会社イースリーと連携し、お客さまのカーボンニュートラルに向けた取組みを支援するサービスの取扱いを開始しました。

### 重点戦略② 職員のウェルビーイング向上

“働きがい”と“働きやすさ”を両立することで、職員のウェルビーイング最大化を図り、お客さまや地域が抱える課題の解決に熱意と気概をもって取り組む人材の育成に注力しております。

#### 「タウンホールミーティング」の開催

若手行員が経営方針の理解を深め、チャレンジする意識の醸成を育むことを目的に、頭取と若手行員の対話集会である「タウンホールミーティング」を開催しました。



#### 「ポストチャレンジ制度」「シニアチャレンジ制度」の改定

年齢に関わらず、意欲や能力の高い人材が活躍できる場を創出するために、人事制度を一部改定いたしました。当行は今後も挑戦を後押しする企業風土の改革に取り組みます。

#### 健康経営優良法人2025「ホワイト500」認定

当行は、職員及びその家族の健康保持・増進を積極的にサポートしており、2025年3月には、健康経営優良法人(ホワイト500)に2年連続で認定されました(通算6期)。



## 重点戦略③ 生産性の飛躍的向上

デジタルを活用した業務プロセス改革とチャネル戦略の高度化を通じて生産性を向上させ、戦略の遂行に必要な人員と時間の創出に取り組んでおります。

### 「百十四銀行MyPageサービス（事業性融資）」の取扱い開始

業務効率化やコスト削減を目的として、事業性融資におけるペーパーレスでの電子契約サービス「百十四銀行MyPageサービス（事業性融資）」を開始しました。

### 114バンキングアプリユーザー数が累計10万人突破！

114バンキングアプリは生体認証等による十分なセキュリティを確保しながら、銀行サービスが簡単にご利用いただけます。当行は積極的なデジタル技術の活用により、一層のサービス向上につとめてまいります。



### 「来店予約サービス」をリニューアル

店舗運営の効率化、お客さま満足度向上を目的に、「来店予約サービス」をリニューアルしました。リアルタイムでの空き情報確認、前日までの予約変更、来店前日の案内メール配信を行っております。

## 重点戦略④ 持続可能な経営基盤の構築

地域金融機関として主体的かつ長期的な視点で地域活性化に取り組むことを通じて、盤石な経営基盤の構築を図っております。

### 企業版ふるさと納税に関する契約締結

地方公共団体が新たな事業を推進するための財源確保や域外の事業者による地方創生プロジェクトへの貢献機会創出を目的とした企業版ふるさと納税に取り組んでおります。



### ZEB認証の取得

新築いたしました東かがわ営業部、三島支店はZEB認証※を取得しております。今後も、地域のカーボンニュートラルの実現を通じて持続可能な地域社会への貢献につとめてまいります。



※Net Zero Energy Buildingの略称で、省エネ設備や再生可能エネルギーの導入によりエネルギー消費量をゼロにすることをめざした建物。

### 四国物産フェアの開催

首都圏での地域製品の販売機会創出を通じて、地域経済活性化を図るべく「地域のサステナビリティ推進に関するパートナーシップ協定」に基づき、日本生命保険相互会社と共同で「四国物産フェア」を開催しました。



### 生物多様性保全への取り組み

豊かな生態系を誇る瀬戸内海において、藻場再生を起点に、地域で協働し、長期的な目線で生物多様性保全をめざす「瀬戸内渚フォーラム」に参画しました。

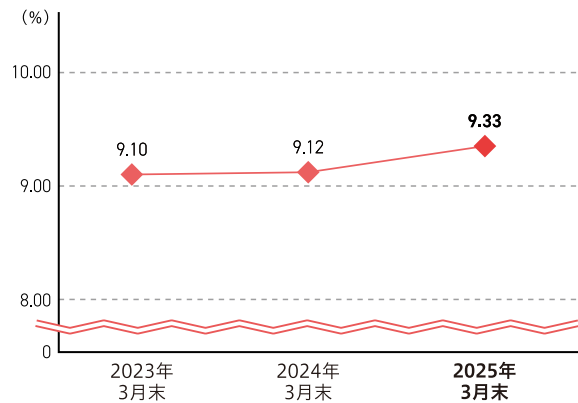


## 経営の健全性について

### 自己資本比率の推移【連結】

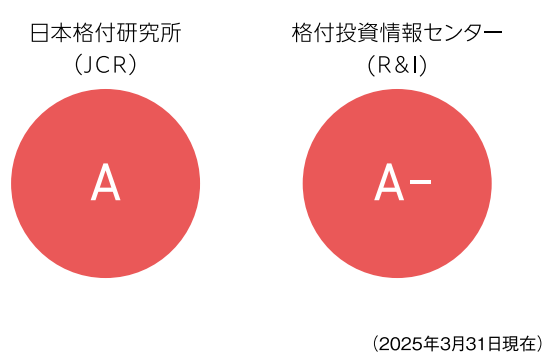
自己資本比率は、銀行の健全性を示す指標の一つです。

自己資本比率規制（国内基準）に基づく連結自己資本比率は、2025年3月末現在で9.33%となっており、引き続き十分な水準を確保しています。



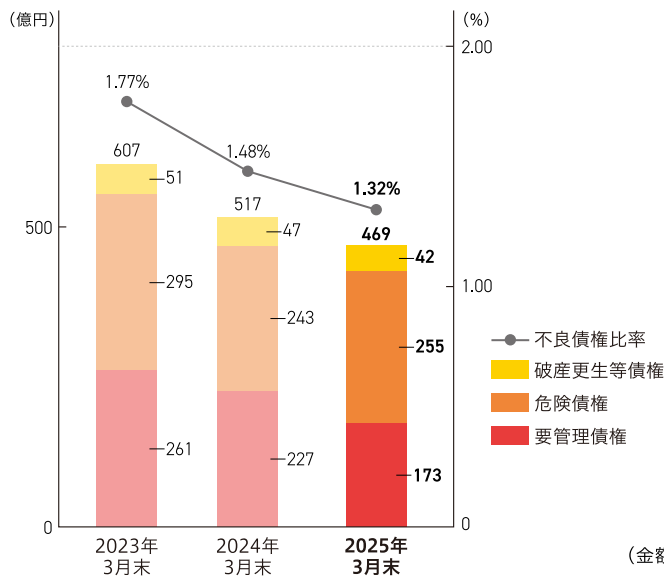
### 格付

当行は、日本格付研究所（JCR）から長期発行体格付について「A」を、格付投資情報センター（R&I）から発行体格付について「A-」の格付を取得しており、経営の健全性について高く評価されています。

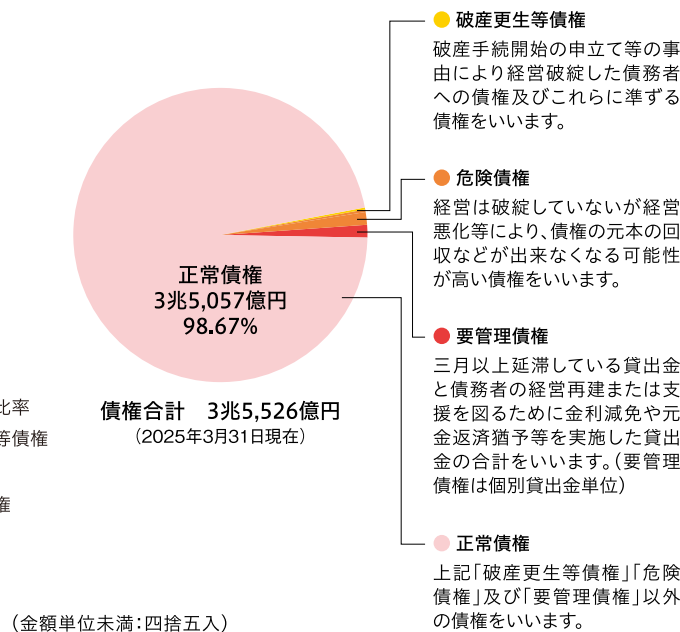


### 金融再生法開示債権の状況【単体】

当期末の金融再生法開示債権\*ベースの不良債権残高は、破産更生等債権及び要管理債権が減少したことで前期末比48億円減少し、469億円となりました。また、債権合計に占める不良債権比率は、前期末比0.16ポイント低下して1.32%となりました。



\*金融再生法開示債権とは  
金融再生法に基づき、与信額（貸出金・外国為替・支払承諾見返・未収利息・仮払金（貸出金に準ずるもの）及び銀行保証付私募債）を対象とし債務者単位で区分しています。



# 株式情報

## 株式のご案内

### 事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日までとします。

### 定時株主総会

毎年6月に開催します。

### 配当金のお支払

期末配当金 3月31日現在の株主さまに対しお支払いします。

中間配当金 中間配当を行う場合は、9月30日現在の株主さまに対しお支払いします。

なお、配当金のお受け取りには、お近くの当行本支店の預金口座への振込みをご指定いただくと便利です。

### 基準日

定時株主総会については、毎年3月31日とします。

その他必要があるときは、あらかじめ公告します。

### 株式事務取扱場所

株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

株主名簿管理人  
事務取扱場所 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
大阪証券代行部

### 各種お問合せ

(郵便物送付先) 〒541-8502  
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
大阪証券代行部  
(ご照会先) 0120-094-777 (通話料無料)  
(ホームページアドレス) <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

### 〈株式に関する各種お手続き〉

届出住所・姓名などの変更、配当金の振込先の指定または変更、単元未満株式の買取請求及び買増請求などについては、口座開設されている証券会社等(証券会社等に口座開設されていない株主さまは、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社)へお届出ください。

### 公告掲載方法

電子公告により行います。

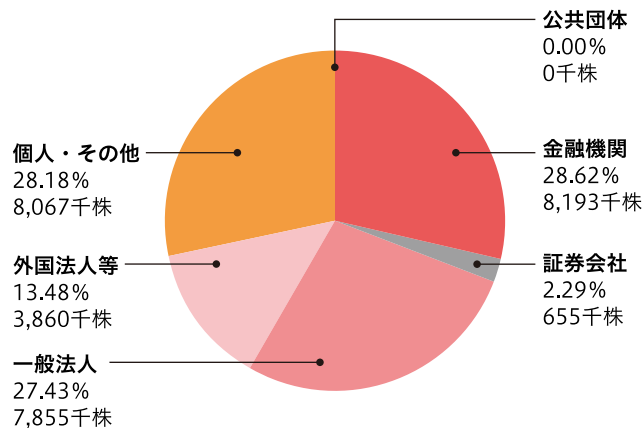
当行ホームページアドレス <https://www.114bank.co.jp/>  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

## 株式の状況

発行済株式の総数：28,630千株 (2025年3月31日現在)

株主数：27,284名

### 所有者別株式数



## 株主優待制度

株主の皆さまの日頃からのご支援に感謝するとともに、当行株式への投資魅力を高め、より多くの皆さまに当行株式を長期保有していただくために、株主優待制度を導入しています。

### 対象となる株主さま

毎年3月31日を基準日とし、100株(1単元)以上の株式を1年以上継続保有<sup>(※)</sup>される株主さまが対象です。

### 優待制度の内容

地元香川県の特産品及び社会貢献活動に対する寄付コースを掲載した専用カタログから、保有株式数に応じてお好みの優待品をお選びいただけます。

なお、専用カタログは例年6月に発送しています。



| 保有株式数        | 専用カタログ   |
|--------------|----------|
| 100株以上500株未満 | 2,500円相当 |
| 500株以上       | 5,000円相当 |

(※)1年以上継続保有とは、基準日(3月末日)とその前年3月末日及び9月末日の株主名簿に同一株主番号で100株以上の保有記録が連続して記載、または記録されていることです。



いい出会い ふくらむ未来

百十四銀行

編集発行/2025年6月 百十四銀行 経営企画部 経営戦略室

〒760-8574(専用) 香川県高松市亀井町5番地の1

Tel.(087)831-0114 ホームページアドレス <https://www.114bank.co.jp/>